

臨床工学技士による臨床現場の「困りごと」から製品開発・研究業績へ

第3回 臨床工学・産学連携マッチング会

Web開催：参加者募集

【開催概要】

日時 2020年9月15日(火)18:00～19:30

会場 Web オンライン (ZOOM ウェビナー)

参加費 無料

参加申し込み先

東京都臨床工学技士会ホームページまたはQRコード

東京都医工連携HUB機構（東京都）が契約しているZOOMウェビナーを使用しています。

参加申し込み先



18:00-18:10 開会挨拶

順天堂大学医学部附属順天堂医院 臨床工学室 仲條 麻美 氏
 東京都産業労働局商工部創業支援課 技術調整担当課長 植野 史央 氏

18:10-18:20 臨床工学・産学連携マッチング会 概要説明

東京都医工連携HUB機構 プロジェクトマネージャー 柏野 聡彦 氏

18:20-19:25 臨床ニーズ発表 5テーマ(発表順未定)

社会医療法人抱生会丸の内病院 臨床工学課 吉澤 光崇 氏 2テーマ
 「女性への蘇生を躊躇せず行えるデバイス」「酸素ボンベ残量計（高フローシステム専用）」

聖隷三方原病院 CE室 保科 充紀 氏 2テーマ
 「人工呼吸器の各種フィルター」・「在宅酸素療法の酸素チューブ」

東海大学医学部付属八王子病院 臨床工学技術科 小島 優 氏
 「テーブルタップ」

臨床ニーズの詳細



19:25-19:30 閉会挨拶

東京女子医科大学 臨床工学部 岡澤 圭祐 氏

ニーズ発表形式

スライドは1枚で背景と問題点のみ、課題や解決策など知的財産的価値のある情報は発表できません。

スライド発表例

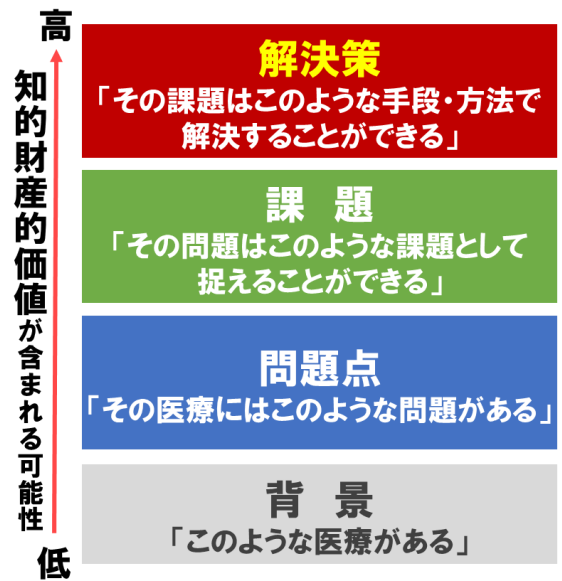
2020年9月15日 臨床工学・産学連携マッチング会
提案者: ○○病院 臨床工学技士 ■■■ ■■■

デバイス開発で解決したい問題点
この問題を解決したい

○○できない/○○になってしまう(問題点)

ここに、「 臨床現場の問題点 が伝わる写真」を掲載する 現場の臨場感・重要性・緊急性・迫力が伝わる写真を掲載する	「問題点に関連する 現行のデバイスの写真」
出典: ○○○○ ○○○(写真の説明)	出典: ○○○○ ○○○(写真の説明)

年間患者数○○人、年間実施件数○○件、予想単価○○円 …



発表前の流れ

臨床ニーズの応募
ニーズ要約①～③

臨床ニーズの査読^{※1}
東京都臨床工学技士会 医工連携WG

※1 臨床ニーズをブラッシュアップします、ものづくり・製販企業の方々に向けて、問題点の明確化や医療用語を分かりやすい文章に修正します。

東京都医工連携HUB機構HP掲載^{※2}

※2 その他、東京都医工連携HUB機構登録会員約1,800機関(企業・研究機関)に向けてメールマガジンを配信し、臨床ニーズをお知らせします。

第3回 臨床工学・産学連携マッチング会
臨床工学技士から臨床ニーズを発表

発表後の流れ

第3回 臨床工学・産学連携マッチング会
臨床工学技士から臨床ニーズを発表

マッチング^{※3}
臨床工学技士 × 製販企業 × ものづくり企業

※3 秘密保持契約(NDA)締結後、ニーズの課題や解決策など知的財産的価値の情報を交換する。ニーズから製品化につながる確率を高めるため製販企業・ものづくり企業と開発テーマを作る。

公的資金申請・獲得^{※4}
申請者=ものづくり企業

※4 東京都中小企業振興公社
医療機器産業参入促進助成事業
(事業化助成金または開発着手助成金)

東京都中小企業振興公社		年3回公募
医療機器産業参入促進助成事業		
事業化助成	開発着手助成	
上限 5,000万円	上限 500万円	
助成率 2/3	助成率 2/3	
期間 交付決定から 5年	期間 交付決定から 1年	

共同研究開発・製品化

【後援申請中】



公益社団法人 日本臨床工学技士会
Japan Association for Clinical Engineers